



### 50周年ロゴマーク

「OGORI」と「50周年」をかけた「O50RI」を中心に配置し、「七夕の里おごおり」にちなみ、宝満川を天の川に見立て、2つの星で織姫・彦星を表現しています。周りには市花の「ふじ」をあしらいました。

# 小郡市は 市制施行50周年を迎えました

☎ 経営戦略課政策推進係 ☎ 72-2111

小郡市は、昭和47年4月1日の市制施行から、令和4年4月1日で50周年を迎えました。この記念すべき年を新たなまちづくりの始まりと位置づけ、市民の皆さんがさらにふるさとへの誇りや愛着を持てる機会とするため、一年にわたってさまざまなイベントや事業を実施します。詳しくは、広報紙やホームページなどで随時お知らせします。

## 小郡市・市制施行50年のあゆみ

- 1997 小郡駅前土地区画整理事業完成
- 1995 野球場、宝満ふれあいセンター完成
- 1994 陸上競技場完成、三国中学校開校、第1回小郡市民ふれあい運動会開催
- 1993 分譲開始、第1回小郡市民音楽祭(のちの小郡音楽祭)
- 1992 西鉄三国が丘駅開駅、学童保育所開設開始
- 1991 シルバー人材センター設立、東野小学校開校、西鉄小郡駅前にきらめきの塔設置、みい農協発足
- 1990 小郡三井医師会休日診療地域医療センター完成、小郡警察署開署、第1回小郡市民文化祭
- 1989 第1回野田宇太郎生誕祭
- 1988 宝満川浄化センター完成
- 1987 九州横断自動車道開通、筑後小郡インター完成、小郡市市歌発表、文化会館・市立図書館・野田宇太郎文学資料館完成
- 1986 甘木鉄道第3セクター開業
- 1985 埋蔵文化財調査センター完成
- 1984 宝満環境センター完成、小郡高等学校開校、「非核恒久平和都市」宣言
- 1983 青少年育成市民会議発足
- 1982 「ふじ」・鳥「つばき」制定
- 1980 大崎保育所開所、市の木「くすのき」・花
- 1979 小郡中学校開校
- 1978 小郡養護学校(のちの小郡特別支援学校)開校
- 1977 第1回市民まつり
- 1976 三井水道企業団設立、弓道場完成
- 1975 柔剣道場完成
- 1974 三国幼稚園・宝城幼稚園開園、大板井橋開通
- 1972 市制施行、小郡幼稚園開園、大原小学校開校、三井消防署開署、第1回市民花火大会

## 市長メッセージ

緑豊かな私たちのふるさと・小郡市は今年で市制施行50周年を迎えました。

50年前、人口が3万人を超え、さらなる発展をめざした小郡町は『緑と太陽に輝く5万都市』をうたい、特例法の「3万市制特例法」を活用した市制施行をめざしました。当時、県内には、同じく特例法の対象となる同規模の町々がありました。小郡町のほかには市をめざす動きがなかったそうです。

このような中、小郡町は筑紫3町への積極的な資料提供や働きかけを行い、晴れて昭和47年、小郡、筑紫野、春日、大野城が市制移行しました。「官報告示」で小郡市が一番先にあることは、小郡町の功

績が大きかったことを今も物語っています。現在の6万人都市・小郡の礎には、先人たちのリーダーシップがあったと言えるでしょう。

いま私たちは、新型コロナウイルスウィルス感染症や自然災害などの大きな課題に直面しています。困難な時だからこそ、これまでの小郡の歩みを振り返り、先人の功労に感謝すること、ふるさとへの誇りと愛着を深め、将来の小郡をつくっていく若い世代の夢や希望を育んでいくまちづくりのきっかけとしましょう。

小郡市長 加地 良光



みんなで  
ロゴマークを  
使って節目の年を  
お祝いしよう



市制施行50周年記念事業をPRするため、ロゴマークを作成しました。記念ロゴマークは50周年記念事業で活用するほか、市民の皆さんが行うイベントなどにも使用できます。使用方法などは、市ホームページに掲載しています。

ロゴマークを使って一緒に市制施行50周年を盛り上げましょう！



1998	天の川大橋開通、「リサイクル推進都市」宣言
1999	上岩田地区工業団地分譲開始、のぞみが丘小学校開校
2000	子育て支援センター開設
2001	市観光協会発足、おごおり国際交流協会発足
2002	ふれあい橋開通、甘木鉄道「今隈駅」開業
2003	甘木鉄道「大板井駅」高架駅開業
2004	七夕通り(原田駅大崎線)全線開通、総合保健福祉センター「あすてらす」完成、コミュニティバス運行開始、生涯学習センター(旧七夕会館)開館
2005	人権教育啓発センター、古代体験館おごおり(埋蔵文化財調査センター増築)開館
2008	クリーンヒル宝満竣工、福童浄化センター供用開始
2009	小郡市消防団特別表彰「まとい」受章
2010	九州歴史資料館開館
2011	大保・今隈10号線供用開始、小郡教育センター開館、二森・八坂34号線開通
2012	端間駅東側駅前広場供用開始、図書館キャラクター「ラックン」命名
2013	新端間橋・満天橋開通、七夕神社周辺地域が「恋人の聖地」に選定
2014	都市計画道路本郷基山線開通
2015	小郡市観光大使オリリン・ヒコリン誕生
2017	県道久留米小郡線バイパス開通、沖縄県本部町と「友好のまち協定」締結、プロ野球中谷将大選手ふるさとスポーツ大使就任
2018	県道鳥栖朝倉線バイパス開通
2019	プロサッカー猶本光選手ふるさとスポーツ大使就任、作家・帯木蓬生さんふるさと文化大使就任
2020	久留米大学学長・内村直尚さんふるさと学術大使就任
2022	市制施行50周年

## ～あなたの旅を文学に～ 野田宇太郎文学賞紀行文募集

申問 野田宇太郎文学資料館(市立図書館内) ☎72-7477 ☎838-0142 小郡市大板井136-1



小郡市出身の詩人・野田宇太郎の代表作「新東京文学散歩」連載開始から70年、そして小郡市市制施行50周年を記念して「野田宇太郎文学賞」を開催し、紀行文を募集します。「紀行文」とは、旅行中の体験・感想などを書きつづった文章で、旅行記ともいわれます。たくさんの応募をお待ちしています。

**応募内容** 出版されている作品(小説・詩・短歌・俳句・エッセイ・マンガなど、本の形で出版されたもの)にゆかりある地を巡っての紀行文

**応募資格** 高校生以上、地域は不問

**募集要項** 詳しくは、資料館ホームページまたは募集チラシをご確認ください

### 審査員

- ・特別審査員 帚木蓬生さん(作家・小郡市ふるさと文化大使)
- ・審査員 田島安江さん(詩人、書肆侃侃房(しょしかんかんぼう)代表)  
吉貝甚蔵さん(詩人)  
浦田義和さん(詩人、佐賀大学名誉教授、久留米大学客員教授)

**表彰** 以下の賞を選出し、10月30日(日)開催の野田宇太郎生誕祭で表彰します

### ●野田宇太郎文学散歩賞(1人)

賞金：10万円、副賞：叶え星文様の御朱印帳

### ●帚木蓬生賞(1人)

賞金：5万円、副賞：叶え星文様の御朱印帳

### ●奨励賞 協賛品

**応募方法** 図書館などで配布している応募用紙または別紙に必要事項を記入し、作品に添付して、図書館に郵送、または資料館ホームページの専用フォーム



※応募作品は原則として返却しません

※入賞作品の著作権は、小郡市に帰属します

**応募期間** 4月15日(金)～8月15日(月)

※当日消印有効

## 市制施行50周年記念 久留米大学との包括連携協定事業

### ①企画展「大原道の記」と150年前の小郡

### ②関連イベント「合戦の道ハイキング」

申問 埋蔵文化財調査センター ☎75-7555 ☎75-2777 ☒bunzai@city.ogori.lg.jp



#### 1 企画展「大原道の記」と150年前の小郡

大保原合戦にゆかりのある村々を歩き史跡を記録した「大原道の記」にみえる150年前の小郡と史跡を、現在の調査成果を交えて紹介します。

**会期** 4月29日(金・祝)～7月18日(月)

※5月15日・16日、6月20日・21日は休館日

**時間** 午前9時～午後4時30分  
(入場は4時まで)

**会場** 埋蔵文化財調査センター

#### 2 関連イベント「合戦の道ハイキング」

今から663年前に起きた大保原合戦。合戦の足跡をたどりながら、史跡案内ボランティアが解説します。

**日時** 4月29日(金・祝)

午前9時30分～正午ごろ※少雨決行

**行程** 大原小学校校庭(集合)▶善風塚跡▶大原古戦場碑(東町公園)▶福童原古戦場跡▶大中臣神社将軍藤(解散)

**参加費** 無料

**定員** 25人(先着順)

**申込方法** 電話・ファクス・Eメールで①氏名  
②住所③電話番号を明記し、申込み